

緩和ケア通信



緩和ケアセンターHP
QRコード

2024年11月20日 緩和ケアセンター発行 Vol.12

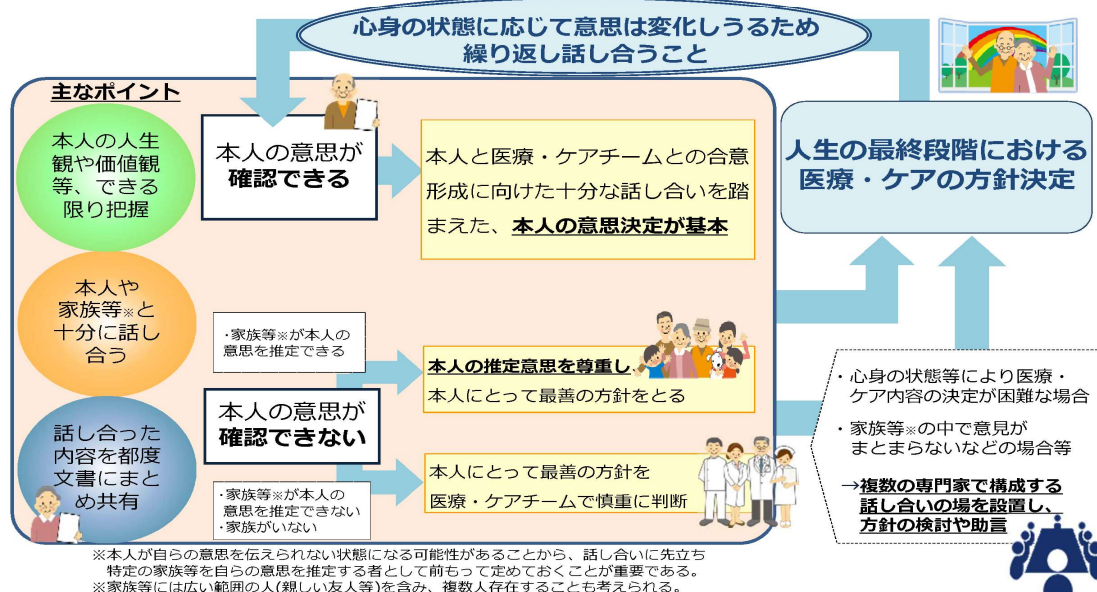
「患者の意思を尊重した意思決定支援」から
「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセス」
(緩和ケアマニュアル：p.11-12) をご紹介します

vol3「ACP」
もみてね！

◆人生の最終段階における医療・ケアの方針決定

「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン」
における意思決定支援や方針決定の流れ（イメージ図）（平成30年版）

人生の最終段階における医療・ケアについては、医師等の医療従事者から本人・家族等へ適切な情報の提供と説明がなされた上で、介護従事者を含む多専門職種からなる医療・ケアチームと十分な話し合いを行い、本人の意思決定を基本として進めること。



人生の最終段階のQOL向上のためには、医療・ケアの方針決定において、そのひと**自身の意思・意向を尊重し**、人生における優先事項や価値観に沿った生活が叶うよう**支援**することが重要である。そのため、患者の生活や人生について、医療・ケアスタッフは十分な情報を得ておく必要がある。

◆患者が医療やケアを選択できるように支援するには

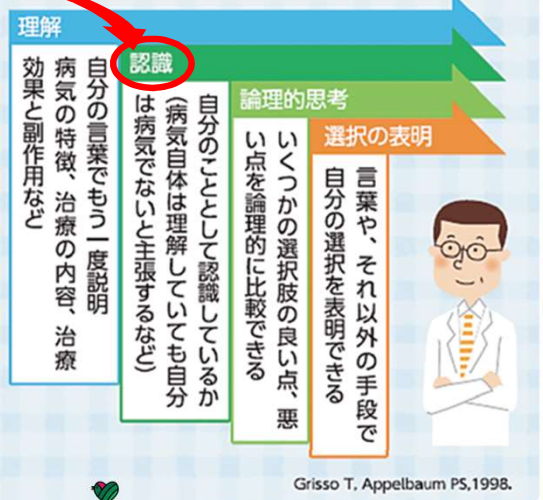
自分事として**認識**するのは難しい。
何を考えたらいいかわからない。
考えることがつらい。
残された力で決められることは？
どんな支援があれば決めることができるのかな？

選択や決定を迫られるのはどれもキツイ内容だよ。

「その人」を知る、ともに考える

- 治療可否やどこで過ごすか等に注目しがちだが「なぜか」の理由が大事！
- 信頼関係の構築なしに「その人」の価値観を知ることは難しい
- 普段の関わりの中で、患者本人が自身の希望に気づくこともある

説明したらわかる・決めることができるわけではないんだね！



第34回 三重大学緩和ケアセミナー 開催します

日時：2025年1月24日(金) 18:30～19:30【ハイブリット形式】

内容：療養生活を支えるお金の処方箋

～診療現場で役立つ公的保険と民間保険のポイント～

講師：川崎由華先生（一般社団法人がんライフアドバイザー協会）

申込・詳細は
こちらから

